

[illegible]

1월 18일 실무자 회서의 토의

教会使命の原点とは

김 성 제

一月の十五・十六日の両日、大阪の郊外の宝塚にある「黙想の家」というカトリック教会系の宿舎において、中央委員、及び各教会からの代表、つまり全国協議会と総会との間で研修会がもたれ、在日大韓キリスト教会の展望、なかなずく教会における教育問題に関して討議された。

澄みきった宝塚の冬の冷気と四方を森で囲んだ大きな庭、それに館内は廊下も各部屋も完璧に暖房設備が施されていて、環境としては申し分の無いところで研修会がもたれたわけだが、今回の研修会の為に色々と骨を折ってくださった教会

김 성 제



一月の十五・十六日の両日、大阪の郊外の宝塚にある。默想の家」というカトリック教会系の宿舎において、中央委員、及び各教会からの代表、つまり全国協議会と総会との間で研修会がもたれ、在日大韓キリスト教会の展望、なかならず教会における教育問題に関して討議された。

澄みきった宝塚の冬の冷気と四方を森で囲んだ大きな庭、それに館内は廊下も各部屋も完璧に暖房設備が施されていて、環境としては申し分の無いところで研修会がもたれたわけだが、今回の研修会の為に色々と骨を折つてくださった教会

大島小三年黃京子

私はかん国人なのに、今まで日本の名前をつかっていた。自分でもはずかしいと思う。

これじゃあまるでうそをついているようだもの。おかあさんが私たち兄妹に

「みんなかん国人なんだからかん国の名前をせないさい」と言った時、私たち兄妹は、反たした。だって、みんなに今までも「かん国人、かん国へ帰れ、帰れ」と言われていたのに、かん国の名前を使うと、もつともつとみんなに言われるからいやだと思った。でも、やっぱり自分の国の名前を使っていた方が気持がスカットした。

これからは、みんなに「私、かん国人よ」といわなくても、名ぶだに「黄京子（ふあん・きよんじや）」と書いてある

とてもうれし。でも、中には「かん国人、かん国人」と、ばかにしたように呼ぶ人がいる。

あたまにくる。私はしらんふりをする。やっぱり、少しいや気がする。でも、私はかん国人だもの、これからは何と言われようとくじけない。

（注い黄京子ちゃんは、川崎教会附属保育園々児黄京夏（ふあん・きよんは）くんのお姉さんです）

四、附錄

東京YMCA（中央ブ
ランチ）では、「韓国問題と日
本人」を主題に次のように
連続講座を開く。日時は一
月二十五日～二月十五日の
木曜午後六時半から九時

—しるしを見ないと信じないのか—

横浜教会牧師 金 君 植

て発せられたものである。現代の世界観が出現する以前に、新約聖書は古代人の奇蹟乞いを痛烈に批判していることは前回にのべた通りである。奇蹟乞いに対する新約聖書の批判は、現代人の懷疑的理性が夢想する以上にはるかに徹底的であり破壊的である。奇蹟乞いに対する新約聖書の批判の根柢は、真理としてのイエスの言葉そのものの中にある。さいわいなるかな、見ないで信するものは、

(ヨハネ伝20章29節)

奇
—し

の現代人にとって聖書の奇蹟信仰はナイーブな、時代後れのものにすぎないのではないか。私に言わせればこういう問い自体が実はナイーブな思考にもとずい

蹟とは

るしを見ないと

横浜教会牧師

的には全く同じ点に立っ
ていることがわかる。『あ
なたがたはしるしと奇蹟をみ
ないうちは、決して信じな
いであらう』（48節）。

科学的合理主義を信奉す

金君植



福音書にて多くの奇蹟物語は、一体どのようなに理解すべきであらうか。福音書の奇蹟物語は、イエスの奇蹟観と根本的に一致する、と云うことが言える。これは共観福音書の奇蹟物語に共通する最も基本的な点である。ところが後代の



金德化목사 취임식에 모인 敎友들

岡山地域の 宣教を目
的으로 本国으로부터
一九二二年六月十六
日 派 宣敎の 出
發을 하게 되었다.
저는 在日大韓 宣敎
會 總會와 關西地 宣
敎會 住宅을 얻

기도 힘을 얻고, 言語소
통의 不自由, 生活道具
의 準備, 子女들의 日
本小学校와 幼稚園入學
수속, 예배실의 협소등

이제 宣敎를 시작하
지 5 개월이 되는때,
총회의 法절차에 따라
總會에 加入하고 委任
式을 갖게 되는때 責

류의 유일한 소망이 되
시는 예수 그리스도와 구
원의 福音을 증거할까
를 생각합니다。
오직 기도와 모든 것

はだれも参加しておらず、
はたどもが関西地方各教会
の青年と牧師任によってメ
ンバーが構成されたという
と、現在、在日大韓キリス
ト教会は、何処に（換言すれ
ばいかなる問題の上に）立
たされているかという明確

問題と日本人」佐藤勝巳、
二月一日「日韓百年史」梶
村秀樹、八日「在日韓国人
にとつとの日本人」李仁夏
十五日「在日韓国人問題と

奇蹟

行き届いた配慮がなされたにも拘わらず、ここに参加したメンバーに関東からは松と西新井教会の崔京植牧師と、中部からは勤労青年の講演の内容をここに網

本人」を主題に次のように
連続講座を開く。日時は一
月二十五日と二月十五日の
毎木曜午後六時半から九時
場所は東京Y M C A新館二
階28号室。会費一回200円

はなに
ないと信じない
牧師 金 君

信徒の方々に對しここで改めて感謝の意を述べたい。しかしただ一つ遺憾でなかったことは、今回の研究に際しては、教会にとつても、と確信しているが大きな収獲といえることは、池明観先生の特殊な視座からの、しかしし

東京YMで韓
国問題講座

こか (II)

のかー

植

の奇蹟物語は奇蹟の経過の

んだからかん国の名前
を使いなさい」と
言った時、私たち兄妹
は、反たいた。
だって、みんなに今ま
これからは、みんなに
「私、かん国人よ」
といわなくても、名ふだ
に「黄京子（ふあん・き
よんじや）」と書いてある

へ注い黄京子ちゃんは、川崎教会附属保育園々児黄京夏（ふあん・きよん）くんのお姉さんです」

の奇蹟觀と根本的に一致する、と云うことが言える。これは其觀福音書の奇蹟物語に共通する最も基本的な点である。ところが後代の伝承になつてくると、例え

これじゃあまるでうそ
をついているようなもの。
おかあさんが私たち兄
妹に「みんなかん国の人な
らう。カントーの

でも、私はかん国人だ

福音書にててくる多くの
蹟物語は、一体どのよう
に理解すべきであらうか。
福音書の奇蹟物語は、イエ
スの言動が、この物語にお
けるユダヤ人は非常に誇
りにしていた）なしにイ
エスとの出会いを通して彼
に自己をあげわたしたこと、
イエスの言葉に対する無条
件性の言明がこの物語にお
けるユダヤ人は非常に誇
りにしていた）なしにイ
エスとの出会いを通して彼
に自己をあげわたしたこと、
イエスの言葉に対する無条
件性の言明がこの物語にお

大島小三年 黄 京 子

眞（ふあん）さんや、京（きょん）ちゃんてよぶ。でも、
平には「かん国人、かん
国人」と、ばかにしたよ



この物語においては百卒長の信仰がどう云うものであるか、を強調する点に主眼がある。即ちひとりの世俗的人間が何らの宗教的前提

私 は かん 国 人

からみんなわかる。
かん国の名前を使って
から、みんな、私の事を

の意味である。
マタイ伝8章5節以下に
有名な百卒長の物語がある。

伝道方法に対する小考

現在の在日韓国教会を中心として

明石伝道所臨時牧師 辛鍾國

現代は急変を越え激変している時代である。この激変の中には、多様な価値観と複雑性を持つ歴史的意味を含んでいる。すなわち、物質文明の高度成長、科学技術の加速的進歩、および精密化による宇宙征服の競争、またコンピュータ時代であることが、またスチューデントパワ、およびミッドリッチ、ウー・マン、レイバー、エコノミックス、ポリティカル等のパワーが包含されるという意味である。

また流行の思潮による無秩序と混乱は、芸術観、人間の倫理観、人間の価値観を激変させることとヒカソの狂言、ジャズの無秩序な旋律、ビートルズ、ヒッピー族の破壊的舞踏が良く考へられ、人間の価値を機械視して有効性と能率で測定評価するなど、人間の真の意味が喪失されていく。

現代は急変と無秩序の混乱の中に立っているわれわれの教会は、わが同胞を中心として、また他民族にも重大な課題である福音伝道の使命が神から負わされている。

教会存在の意味、すなわち本質的使命は、すべてのクリスチャンが神から託された福音伝道の義務を果すことである。これは「神の宣教」として「教会」として「宣教」として「福音」を果すことである。これは「神の宣教」として「教会」として「宣教」として「福音」を果すことである。

良書紹介 『韓国人とキリスト教』 池明観著

（ソウル、一九六九）

第二次世界大戦後世界の第三勢力圏（アジア、アフリカ、ラテン・アメリカ）に属する人々の発言と動向が、新しくつめなおされている。『在日大韓基督教教会』以下「総会」と略す。

の日本社会と祖国における課題と役割も、自ら意識する以上には大きい。ことに、西欧諸国家にくらべ「民族」ということばの重みが、きわめてあるアジア諸国にあっては、それが「信仰」との関係の中で占める位置

の位置と使命と課題を明確に理解し遂行せねばならぬであろう。世界的視野で倫理重視論が提起されている。神学思想によって聖書の価値観が変って行き、基督教の核心であるキリストの受肉、贖罪、復活まで揺らぐ。異常な思想の乱れの中でわれわれは永遠に不変なる聖書の福音を効果的に正しく伝道する深い研究にもつと進まねばならぬであろう。

この具体的実現は一つの完全自立教会が未自立の伝道所を作り援助することである。そして確固たる地域の教会として立つようになり、またその援助を受ける教会が自立することである。勿論アンダーソンの三原則の①自立、②自治、③自給の精神をもつようにならねばならぬ。

③自立の精神をもつようにならねばならぬ。定着した伝道者養成は福音伝道の徹底的な準備策として総会が負うべき課題ではなからうか？

第二は定着した伝道者の養成である。日本国内でわれわれの在日大韓基督教教会は、韓国内の教会の立場とは違う状況の中におかれている。しかし共通点は、ホッペン・タイクのごとき、教会は福音を宣教する行為によって存在し、他者のための教会である、ということである。

現代人がキリスト教を度外視し無関心な態度になつていく根本原因の中には、言行不一致の非人格的クリスチャンが与える影響は大きいであろうか？わが主イエスキリストのみ言葉に権威があり真理であることを保障し、確証としたのは彼の行為であった。われわれの銘記すべきは、事柄の真相は語られていない所にこそあり、躍動するところにある。

だから正しい伝道者になる前に正しいクリスチャンになり、正しいクリスチャンになる前に、自分自身を正しくする真の人間になることが大事である。またキリストの愛に基く奉仕は、真実な人格の所産であり、この模範的善行は深い感動を与える伝道になるであろう。

「総会」が、最初に触れたような課題と責任を荷うた共同体として歩もうと志向する限り、池教授の著書はきわめて啓蒙的な本である。日本語に翻訳されれば、日本に「総会」のみならず日本人キリスト者、教会にとっても必読の書となるであろうと思う。（小杉）

池明観（ち・みんくわん）「徳成女子大教授の筆になる『韓国人とキリスト教』（勿論原文は韓国語である）は、右の理解に従えば「大韓」すなわち「祖国」との関わりあいにおき、特に意味をもつ書である。しかも、ただ単に「祖国」というのではなく、祖国における「キリスト教」の展開がいかなるものであったかを概括的に知る上で、格好の手引きになる本である。更に、その歴史叙述も絶えず「現在」というアンクルにひきよせていたのではないか、それ

の位置と使命と課題を明確に理解し遂行せねばならぬであろう。世界的視野で倫理重視論が提起されている。神学思想によって聖書の価値観が変って行き、基督教の核心であるキリストの受肉、贖罪、復活まで揺らぐ。異常な思想の乱れの中でわれわれは永遠に不変なる聖書の福音を効果的に正しく伝道する深い研究にもつと進まねばならぬであろう。

われわれもこのように真実な同族愛の精神で立派な人格的質的伝道に進むべきである。とくに大事なこと同僚のためにも祈禱することであろう。

第四は、連合伝道をしようという点である。この点で在日韓国教会は良い立場である。総会の伝道部は緻密な計画を作つて各地域に順着をきめてすすまなく連合的に集中伝道をするのである。

また連合伝道とは親交的愛の精神で助け合つて伝道しようという点である。とくに各自教会は指導者の下向式模範的伝道とし、平信徒の連合伝道を果すべきである。連合と組織は非常に強い力になるであろう。

第五は、明確なビジョンをもって伝道することである。キリスト教は特別恩寵の神秘性をもちながら、未来の希望を確信する有機体の宗教である。教会とは現実社会の逃避所ではなく、超越者なる神が内在する聖霊によって動かし、主イエスキリストと共に結合され、信仰と希望と愛に立つようになり、救いのみ業の福音を伝える教育的祭壇的伝道機関である。

この「救いの福音」は明確なビジョンを含んでいる。この真理を生命をかけて保障し証しするのが伝道である。教会は、宣教、教育、奉仕、親交の諸業をもち、この中には展望と共にキリストの贖罪の救いと和解を含んだ伝道的メッセージがある。人間はなんであるか？と問う難問の答は、罪人なり、

から、信仰によってこそ罪が赦され、神にのみ栄光の精神をもち幻想をもつて生きることはなからう。クリスチャンとは義とされ、ローマ七章以下でわれわれは既にドストエフスキの人間像では似ていない平和の人間満ちており、またルソーの人間よりもっと自然的人間であり、またルネサンス的人間以上に優れた人間的な姿を見ている。これは定着した解放され、勝利と確信と希望をもつたパウロの告白であつたではないか？いまわれわれの教会がこのように希望をいだいて喜びに満ちたい。

神の宣教師時代におかれわれは、一族、一福音、一使命を銘記し、神の国の到来を含む聖書の福音伝道に一生懸命に邁進せねばならぬ。またわが国内に起きている政治、経済、文化、教育等に対する韓国民としての連帯的責任意識をもつことは勿論、在日韓国教会を中心として同胞に対する伝道の新しい方法と方向提示の研究が必要である。

この偉大な自覚から、信仰によってこそ罪が赦され、神にのみ栄光の精神をもち幻想をもつて生きることはなからう。クリスチャンとは義とされ、ローマ七章以下でわれわれは既にドストエフスキの人間像では似ていない平和の人間満ちており、またルソーの人間よりもっと自然的人間であり、またルネサンス的人間以上に優れた人間的な姿を見ている。これは定着した解放され、勝利と確信と希望をもつたパウロの告白であつたではないか？いまわれわれの教会がこのように希望をいだいて喜びに満ちたい。

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

△金安弘 牧師 韓国長老神学校 一年間 留学中 牧師 延世大学で 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中 韓国基督教史を 執筆中

婦人服製造卸

OK 商会

金 京 秋

大阪市東区北久宝寺3丁目23-1 (251) 5444

大阪市北区曾根崎中2の2 (341) 2162

大阪市東区東小橋北之町2-152 (981) 2980

人事消息

△金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた 金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた

△金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた 金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた

△金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた 金承俊 牧師 韓国 清涼里中央長老교회 一年間 牧会研修 加わつた